

一般社団法人国際再生医療普及協会  
 特定認定再生医療等委員会議事要旨

日 時：2023年2月15日（水）15：30～15：36

開催場所：千葉大亥鼻イノベーションセンター 1階会議室/web

|   | 摘要                                  | 氏名             | 出欠 | 利益相反     |            |
|---|-------------------------------------|----------------|----|----------|------------|
|   |                                     |                |    | 医療機<br>関 | 委員会<br>設置者 |
| 1 | 分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家      | 石井 伊都子         | ×  |          |            |
|   |                                     | 鈴木 邦子          | ○  | 無        | 無          |
| 2 | 再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者      | 齋藤 康<br>※委員長   | ○  | 無        | 無          |
|   |                                     | 落谷 孝広          | ×  |          |            |
|   |                                     | 寺井 崇二          | ×  |          |            |
| 3 | 臨床医（現に診療に従事している医師又は歯科医師）            | 中林 正雄          | ○  | 無        | 無          |
|   |                                     | 竹本 稔<br>※技術専門員 | ○  | 無        | 無          |
|   |                                     | 佐野 明彦          | ○  | 無        | 無          |
| 4 | 細胞培養加工に関する識見を有する者                   | 木田 泰之          | ○  | 無        | 無          |
| 5 | 医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家 | 中村 智広          | ×  |          |            |
| 6 | 生命倫理に関する識見を有する者                     | 川上 祐美          | ○  | 無        | 無          |
| 7 | 生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者             | 林 邦彦           | ×  |          |            |
| 8 | 前7号に掲げる者以外の一般の立場の者                  | 宮内 明子          | ×  |          |            |
|   |                                     | 中山 ちはる         | ○  | 無        | 無          |

配付資料（事務局受領年月日；2023年2月7日）

資料1 再生医療等提供状況定期報告書 2022年1月31日付

一般社団法人国際再生医療普及協会特定認定再生医療等委員会規則第6条第3項の定めにより、齋藤委員長は議長となり、本委員会の開会を宣言し、本日の出席委員を報告した。ついで本委員会の審議に必要な法定の成立要件を充足している旨を述べた。

審査：定期報告

医療機関：医療法人社団 悠健 ドクターアンディーズクリニック

管理者：ウォン・アンドリュー・チー・ウェン

議題：2型糖尿病の改善を目的とした自己脂肪由来間葉系幹細胞を用いた治療

結果：適

事務局より、本件について概要および管理者の体調とクリニックの状況の説明が行われた。

2022年に続き2023年も0例の定期報告となった。

2021年は、管理者であり実施医師のウォン先生が新型コロナウイルス感染症に罹患し復帰に時間を要したため、結果、診療を行えなかったためであった。その後、後遺症に苦しみがらも何とか持ち直してきた中、今度は他の持病が悪化し、依然として再生医療を実施することができずにいる。

このような状況ではあるが、クリニックとしては実施医師復帰後本提供計画を継続実施する予定である。

0例のため、状況確認の質疑のみであり、記録すべき「主な質疑」は無かった。

審議の結果、本提供計画を継続することに問題ないとの結論で、参加委員全員の意見が一致した。

以上